

空気と水のテクノロジー
株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

空気と水のテクノロジー **RYOWA REPORT**

株主通信vol.31

第67期 中間期 業績のご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

- ① ごあいさつ・トップメッセージ
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第67期(平成27年4月1日から平成28年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済が減速した影響により輸出が減少し、所得環境の改善や原油安によるコスト低減効果は見られるものの、個人消費は増税後の低迷が続くなど、景気は足踏み状態となりました。

建設業界におきましては、補正予算の効果があった昨年と比べると公共投資には弱さが見られたものの、設備投資につきましては、国内需要の回復を背景に振れを伴いながらも緩やかな持ち直しの動きが継続し、受注環境は底堅く推移しました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は、受注高34,221百万円、売上高26,952百万円、営業利益1,281百万円、経常利益1,370百万円、中間純利益865百万円となりました。

当中間期は、前年と比べても受注が堅調に推移し、特に好調な企業業績や設備の更新需要等を背景に産業設備工事の受注が増加したことで、受注高、売上高とも前年より増加しました。また、利益につきましては、売上高の増加に加え、採算性の高い工事が進捗したことから売上高総利益率の改善が進み、前年と比べ増益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	34,221	30,388
売上高	26,952	24,244
営業利益	1,281	223
経常利益	1,370	446
中間純利益	865	241

Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当社グループの初めての試みとして、2023年度までの中長期経営ビジョンを策定し、建設市場の縮小が懸念される中でも、安定的な収益の確保を目指すための長期的な方針を掲げました。また、従来通り中期3か年事業計画を策定し、中期的な経営戦略を明確化し、より具体的な施策を定めました。

当期は、各方針の初年度となりますが、目標達成に向けてはこの初年度を順調に滑り出すことが重要でありませう。そこで、期初の方針として7つのキーワードを掲げ、中長期経営ビジョンの目標達成に向けた足がかりとなるための施策を展開しております。

具体的には、成長著しい医薬関連分野への営業強化を目的に社内プロジェクトを立ち上げ、受注拡大を推進してまいりました。また、お客様との関係強化を目的として、引き続きライフサイクル一貫ソリューションビジネスを推進し、お客様のよきパートナーとなれるよう、信頼関係の構築を進めております。

また、国内の需要減少に備え、海外事業規模の拡大を

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。



目指して新たにミャンマー事務所を開設し、東南アジア地域の事業基盤の確立を推進してまいります。さらに、当社が培ってきた技術の伝承を円滑に進めるため、高齢者を積極的に活用するための施策を実行しております。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 中国経済の減速などを背景に景気は足踏み状態となりましたが、所得環境の改善が消費の緩やかな回復を後押しするとともに、米国向けを中心に輸出が徐々に持ち直すと見られることから、景気は底堅さを取り戻し、緩やかながら回復に向かうものと思われませう。

建設業界におきましては、公共投資の伸びは期待できないものの、好調な企業業績を背景に、設備投資は緩やかな回復の継続が見込まれます。

当期の連結業績見通しにつきましては、下半期も引き続き良好な受注環境が見込まれ、工事採算性も前年より高い水準が続くと思われることから、前期と比べ増収増益を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受 注 高	59,000	57,934
売 上 高	58,600	54,168
営 業 利 益	2,350	2,068
経 常 利 益	2,490	2,368
当 期 純 利 益	1,540	1,284

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 本年4月に社長に就任し、半年が経過いたしました。おかげさまで、当中間期は、前年を上回る

業績を達成できましたが、将来に目を転じると、国内産業の空洞化や技能労働者・技術者の不足、東京オリンピック・パラリンピック後の建設需要の落ち込みなど、楽観を許さない状況が見受けられます。こうした状況の中でも、安定した経営を実践し、確実な収益の確保を達成するため、ビジョンに掲げた施策を一つひとつ実行し、目標の達成を目指してまいります。

当期末の配当金につきましては、1株につき8円とし、年間では前期より1円増配の1株につき16円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



空調EX(エキスパート).com

TOPICS e-コマースの開始について

当社は、長年にわたり空調衛生設備の設計・施工・メンテナンスサービスの提供とともに、設備で使用する冷熱機器の販売も行っております。そのノウハウを活用して本年8月にWebショップ「空調EX(エキスパート).com」を開設し、e-コマースを開始いたしました。全国各地のお客様からWeb画面を通して業務用エアコンの選定・見積依頼をいただくことが可能となり、機器の撤去・新設や配管工事などは全国に張り巡らせた当社のネットワークにてご対応いたします。

当社は「空調EX(エキスパート).com」を通じて、豊富な施工実績で培った確かな技術でお客様の用途にあった最適な機器・施工をご提案します。このようなソリューションをインターネットを通して提供することにより、幅広いお客様の獲得を目指してまいります。

施工実績

株式会社ホギメディカル 筑波キット工場増築



本物件は、手術用キットの増産に対応するための生産施設の増設を目的として建設され、免震構造を取り入れた建物となっています。空調方式は空調機・ファンコイルを用いており、負荷に応じた省エネ運転を行う熱源設備として、ターボ冷凍機・モジュールチラーを併用しております。また給排水・消火配管については、特殊な配管継手等を用いて建物の免震構造に対応した施工を施しております。



概要	
竣工年月	2015年8月
施 工 地	茨城県牛久市
建物用途	医療関連商品製造工場
延床面積	58,165.45㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・衛生設備工事

PT.UNITED CAN スラバヤ工場



本物件は、東ジャワの工業団地に立地し、インドネシアの中でも近年経済発展の著しい東部における食品・飲料工場向けに缶詰や飲料用の缶などを生産する工場です。空調はスポット冷房が主体となっており、空冷チラーと空調機を用いて冷風を給気しております。また、工場内を衛生的に保つため高性能フィルターでろ過された清浄外気で加圧しております。

概要	
竣工年月	2015年9月
施 工 地	インドネシア国、東ジャワ(スラバヤ郊外)
建物用途	製缶工場
延床面積	20,286.14㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	空調・換気・衛生・給排水・電気設備工事

マ・マーマカロニ株式会社 神戸冷凍食品工場



本物件は、冷凍食品事業における西日本地区で初めての生産拠点として、既存工場内に建設されました。お客様がこれまでに培ってきた技術・ノウハウを結集した生産ラインを設置し、生産効率を飛躍的に向上させた最新鋭・高能力の工場です。また、建物の無窓化や陽圧化で埃等の侵入を防ぎ衛生度を向上させるなど、安全・安心への取り組みを徹底しております。当社は本物件において、空調・衛生設備工事の施工に携わりました。

概要	
竣工年月	2015年7月
施 工 地	兵庫県神戸市
建物用途	食品工場
延床面積	5,536.73㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

株式会社松岡 都城物流センター



本物件は、都城インター工業団地に立地し、焼酎の原料となる冷凍芋等、南九州産の農畜産物、海産物や冷凍食品の保管・管理を行う内陸型の物流センターです。環境との調和に配慮され、平屋建てとしては国内最大級の冷凍・冷蔵倉庫となります。当社グループの松浦電機システムは、本物件の電気設備工事に携わり、LED照明器具の設置など施設の長寿命・省エネルギー化の一端を担いました。

概要	
竣工年月	2015年8月
施 工 地	宮崎県都城市
建物用途	冷凍・冷蔵倉庫
延床面積	17,345.51㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	電気設備工事



テクノ菱和の技術の紹介

Vol.09

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり・・・
テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。
そんな「環境のトータルエンジニアリング」企業である
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!

気流や温度のムラを抑えて快適な環境に!

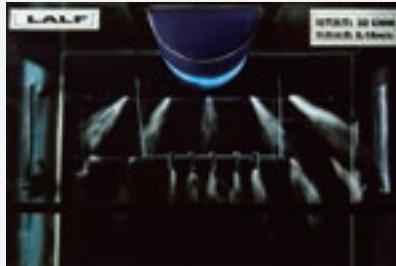


「微風速吹出空調システム」

☆微風速吹出空調システムって何?

一般的な空調設備では、室内との温度差が大きい空気を速い風速で対象域へ送っているため、不快な空気の流れや場所によって大きな温度差が生じる場合があります。

微風速吹出空調システムでは、ポリエステル繊維素材のダクトの吹出口(素材の織目)から微風速(0.3m/s以下)で空気を供給するため、部屋全体の空気をゆっくりと循環させ、気流や温度ムラの発生を最小限に抑える快適な環境をつくり出すことが可能です。



LALF®

☆どこで利用されているの?

大きな気流や温度ムラを嫌う施設で利用されています。病院、食品工場、動物飼育施設などです。

☆このシステムを応用したテクノ菱和の技術は?

当社の技術としては、非一方向流型クリーンルームにおいて、一方向流に類した局所清浄化システムを構築できるLALF®(エアークリーンシステム)や、解剖実習室において、発生したホルムアルデヒドを作業空間に拡散させないFORMACS®(解剖実習室ホルムアルデヒドクリアシステム)があります。



FORMACS®

Check!

食品の鮮度と薬品の品質を保持!



「冷凍・冷蔵技術」

☆どうして冷凍・冷蔵が必要なの?

常温で保存すると、肉類や野菜類、乳製品などの食品類の鮮度や薬品類の品質が落ちてしまいます。そのため食品工場・物流センター・研究施設などでは、貯蔵する物品の鮮度維持や劣化防止のために低温保存技術が必要となります。

☆どうやって冷やしているの?

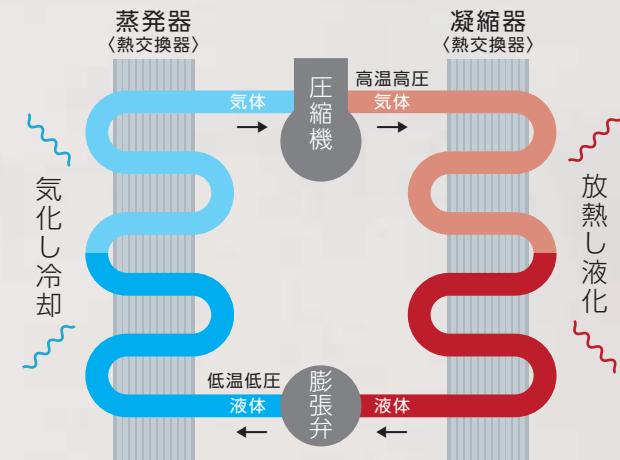
熱機関の理論サイクルの一つである冷凍サイクルを用いています。一般的な冷凍サイクルである蒸気圧縮式の動作原理は次の通りです。

蒸発器で発生した低温低圧の気体の冷媒を圧縮機で圧縮して、高温高圧の気体にします。そこで発生させた気体を凝縮器で放熱させて液化させると同時に、膨張弁で減圧して、低温低圧の液体にします。その液体を蒸発器で気化させることで、大きく熱が奪われ、空気を冷やすことが可能となります。

☆ただ冷やすだけなの?

最近の冷凍冷蔵施設においては、単純に冷やすだけではなく、適切な温度分布や省エネなど様々な対応が求められています。当社ではこれらの多様な要求を満たすため、各部門が相互に連携して、最適な設計・施工をお客様に提供しております。

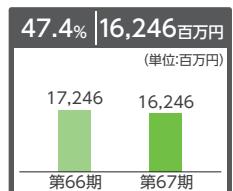
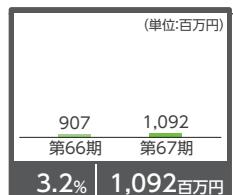
冷凍サイクル(蒸気圧縮式)の仕組み



受注高	売上高	経常利益	中間純利益
34,221 百万円	26,952 百万円	1,370 百万円	865 百万円
< 前年同期 30,388百万円 >	< 前年同期 24,244百万円 >	< 前年同期 446百万円 >	< 前年同期 241百万円 >

受注高構成比

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



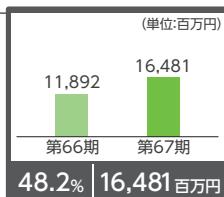
当中間期は、民間の教育施設・医療施設の受注が堅調でした。公共施設の受注は前年同期比で見ると減少したものの、官公庁の庁舎を中心として底堅く推移しました。

今後も東京オリンピック・パラリンピックまでの民間の設備投資需要を確実に取り込んでまいります。

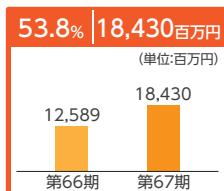
当中間期は、円安による輸出採算の向上や原油安によるコスト削減効果による製造業の設備更新需要を背景に、医薬・食品・機械関連施設の受注が好調でした。

今後も医薬関連の受注シェアを更に伸ばすとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネス体制によるお客様との関係強化を推進してまいります。

産業設備工事



設備改善工事



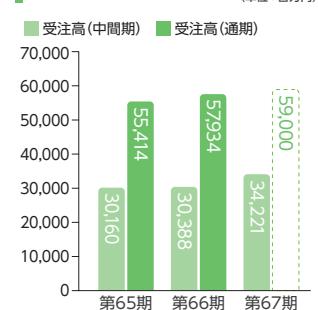
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。

冷熱機器販売



設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

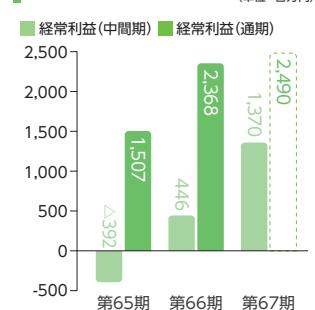
受注高の推移



売上高の推移



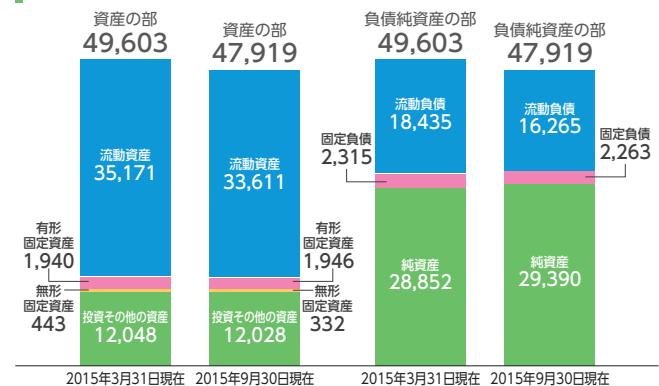
経常利益の推移



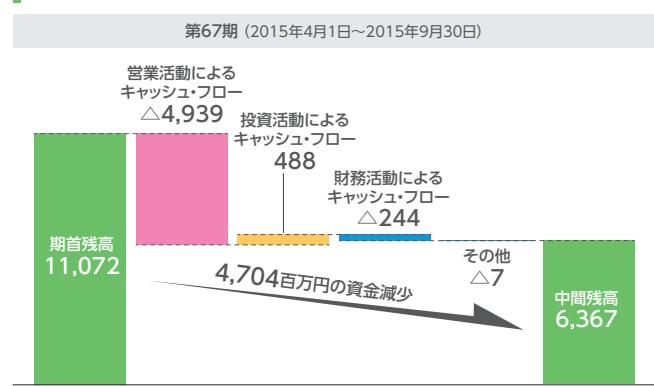
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部

流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の増加27億円、現金及び預金の減少53億円を主な変動として、資産合計は、前期末と比較して16億円減少し、479億円となりました。

負債の部

流動負債における支払手形・工事未払金等の減少21億円を主な変動として、負債合計は、前期末と比較して22億円減少し、185億円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加6億円、その他有価証券評価差額金の減少1億円を主な変動として、純資産合計は、5億円増加して293億円となり、自己資本比率は、前期末比3.1ポイント上昇し、61.3%となりました。

キャッシュ・フロー

売上債権の増加による資金減少27億円、仕入債務の減少による資金減少21億円を主な変動として、現金及び現金同等物は、前期末と比較して47億円減少し、63億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立 昭和24年12月23日
資本金 2,746,800,000円
上場 東京証券取引所市場第二部
従業員 674名 (連結785名)
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
東京本店(東京都豊島区)
千葉支店(千葉県千葉市)
茨城支店(茨城県土浦市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)
東北支店(宮城県仙台市)
横浜支店(神奈川県横浜市)
名古屋支店(愛知県名古屋市)
静岡支店(静岡県静岡市)
大阪支店(大阪府大阪市)
中国支店(岡山県倉敷市)
九州支店(福岡県福岡市)
海外事業部(東京都豊島区)

役員 (平成27年9月30日現在)

取締役会長	阿部 捷 司	取締役	根岸 孝 雄	取締役	福士 富 三
代表取締役社長	黒田 英 彦	取締役	鈴木 孝 孝	常勤監査役	岡田 秀 司
常務取締役	飯田 亮 輔	取締役	星野 宏 一	監査役(社外)	横山 真 次
常務取締役	知見 扶 公	取締役	黒田 長 憲	監査役(社外)	林 健 一郎
取締役(社外)	楠本 馨	取締役	達 和 敏		
取締役	松橋 秀 明	取締役	加藤 雅 也		

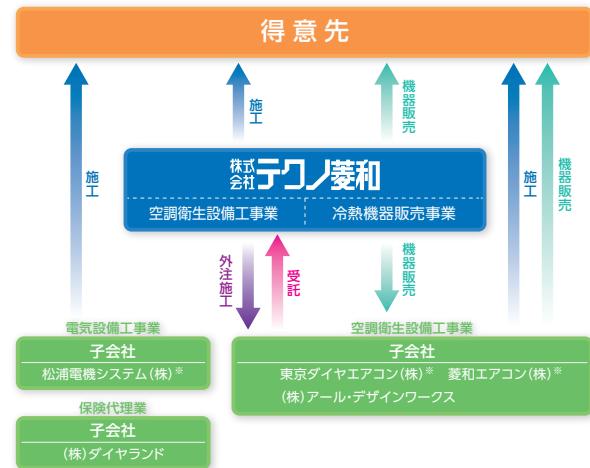
事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 太陽光発電事業
太陽光発電による電力を売電する事業を行っております。
- 不動産賃貸事業
菱和エアコン株式会社にて、不動産の賃貸業を行っております。
- 保険代理事業
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社*	株式会社ダイヤランド
所在地 愛知県名古屋	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社*	
所在地 大阪府守口市	
主要な事業の内容 電気設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈



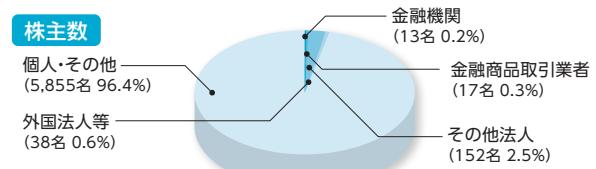
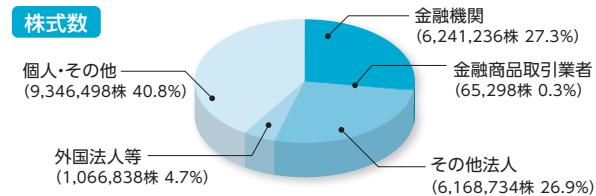
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株
当中間期末現在の株主総数 6,075名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,098	9.1
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
テクノ菱和従業員持株会	673	2.9
近重 次郎	672	2.9

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先

【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

